

書誌第105号追

九州沿岸水路誌

追補第7

令和6年(2024)7月12日発行



海上保安庁

九州沿岸水路誌

追補第7

この追補は、令和3年3月刊行の九州沿岸水路誌の記載事項を更新するもので、令和6年6月7日までに入手した資料を基に編集したものです。

追補は、更新情報を記載した「本文」と、それを検索するため、ページ番号等を記載した「索引」から構成されています。

「索引」については、更新箇所の表題や港名等を記載し、ページ番号順に並べています。

「本文」については、本追補の更新箇所は、灰色背景で赤色文字にて示しています。

【】で囲んだ内容は、削除や差し替えを行うことを意味しています。

図の挿入等によりページ内に収まらない場合は、水路誌本誌とのページ番号を整合させるため、追補においては、便宜的に枝番号を付しています。

令和6年7月12日

海上保安庁海洋情報部

注 意

海上保安庁は、各国が発布した諸法規、宣言、海図及び水路通報・航行警報並びに船舶等からの視認報告のうち、船舶交通の安全の確保と海洋環境の保全という観点から、航海の安全及び環境保全に影響を与える可能性のある情報については、水路通報及び航行警報により周知するほか、海上保安庁の海図その他の航海用刊行物にも掲載するようにしています。

これらの情報を利用するにあたっては、海上保安庁によるこれらの情報提供は、航海の安全等のための利用を目的としており、その内容は日本政府がこれらの諸法規、宣言等を承認したことを意味するものではない点に留意してください。

ページ	更新箇所(表題、港名等)	備考
12	海上訓練区域	
13	海上訓練区域	
50	博多港	追補第6の当該ページは無効
92	佐世保港	追補第6の当該ページは無効
156	甬島列島	追補第1の当該ページは無効
170	鹿児島港	追補第5の当該ページは無効
171	鹿児島港	追補第5の当該ページは無効
210	沖縄群島	
219	那覇港	追補第2の当該ページは無効
220	那覇港	追補第5の当該ページは無効
222	金武中城港	
223	金武中城港、中城湾	追補第6の当該ページは無効
226	前泊港・仲田港	
235	南大東島	
241	平良港	
246	石垣港	追補第5の当該ページは無効
249	波照間漁港	

第7章 航行に関する諸注意

海上訓練区域

- 5 この水路誌の記載区域内における、在日アメリカ合衆国軍が使用する海上訓練区域は次のとおりである（最新の水路通報別冊「在日アメリカ合衆国軍海上訓練区域一覧表」及び特殊図第 6973 号「日本近海演習区域一覧図、(分図) 沖縄島」参照）。

1 海軍訓練区域（第3図参照）

記号	区域名	訓練の種類	訓練時間
I	ゴルフ区域 {九州西岸、 五島列島北方}	各種艦砲の水平及び対空射撃訓練を行う。 最大射程は27,432mとし、最大射高は6,096mとする。	連日昼夜を問わず行うことができる。 夜間(1700～0800)に射撃訓練を行う際は予告される。
II	フォックストロット区域 {九州西岸、 五島列島南方}	各種艦砲の水平及び対空射撃訓練並びに航空機の空対空及び空対水射撃訓練を行う。 この訓練には各種の海軍及び空軍訓練用兵器を使用し、最大射程は36,576mとし、射高は無制限とする。	毎日 0800～1700
III	リマ区域 {九州東岸、 日向灘東方}	同上	月曜日～金曜日、0600～1800。 ただし、予告して土曜日 0600～1800に射撃訓練を行うことがある。

制限事項 上記の各区域は常時危険区域である。

10

2 海軍訓練区域（第4・5図参照）

記号	区域名	訓練の種類	訓練時間
1	ホワイト・ビーチ地区 {南西諸島、沖縄島勝連埼東方}	標的機の発射及び回収訓練	本区域を使用する際は予告される。
2	久米島射爆撃場 {南西諸島}	空対地射爆撃訓練	月曜日～土曜日、0600～2300
3	久場島[黄尾嶼]射爆撃場 {南西諸島、尖閣諸島}	空対地射爆撃訓練	原則として 0700～1700 水域を使用する際は予告される。
4	夫正島[赤尾嶼]射爆撃場 {南西諸島、尖閣諸島}	艦砲射撃、艦対地射撃及び空対地射爆撃訓練	本区域を使用する際は予告される。
5	沖大東島射爆撃場 {南西諸島}	艦砲射撃、艦対地射撃及び空対地射爆撃訓練	本区域を使用する際は予告される。
6	ホテル・ホテル訓練区域 {南西諸島、沖縄島東方}	艦船及び航空機の普通火器を使用する海対空、海対海、空対空の射撃及び空対海の射爆撃訓練	毎日 0600～2000（その他発表される他の時間を含む）
7	インディア・インディア訓練区域 {南西諸島、沖縄島東南東方}	艦船及び航空機の普通火器を使用する海対空、海対海及び空対空の射撃訓練	毎日 1100～2300 本区域を使用する際は予告される。
8	マイク・マイク訓練区域 {南西諸島、沖縄島東南東方}	艦船及び航空機の普通火器を使用する海対空、海対海、空対空の射撃及び空対海射爆撃訓練	毎日 0600～1800 本区域を使用する際は予告される。
9	ゴルフ・ゴルフ訓練区域（空域） {南西諸島、沖縄島東南東方}	航空機の普通火器を使用する空対空の射撃訓練	ノータム（航空情報）による。

3 空軍訓練区域（第3・4・5図参照）

記号	区域名	訓練の種類	訓練時間
A	九州空戦訓練区域 {本州北西岸、角島西方}	空対空訓練	月曜日～金曜日、0700～1700
B	伊江島補助飛行場 {南西諸島}	空対地射爆撃訓練、パラシュート訓練及び重量物の投下訓練	月曜日～金曜日、0600～2300、 土曜日 0600～1200 及び 1700～2300 水域を使用しないときは予告される。
C	鳥島射爆撃場 {南西諸島}	空対地射爆撃訓練	毎日 0600～2400 水域を使用しないときは予告される。
D	出砂島射爆撃場 {南西諸島}	空対地射爆撃訓練	月曜日～土曜日、0600～2300 水域を使用しないときは予告される。
E	沖縄北部訓練区域（空域） {南西諸島、沖縄島北西方}	航空機の普通火器を使用する空対空射撃訓練	常時
F	沖縄南部訓練区域（空域） {南西諸島、沖縄島南方}	航空機の普通火器を使用する空対空射撃訓練	常時
G	アルファ区域（空域） {南西諸島、沖縄島東方}	空対空の戦技訓練	毎日 0600～2000

4 陸軍及び海兵隊訓練区域（第4・5図参照）

記号	区域名	訓練の種類	記号	区域名	訓練の種類
イ	北部訓練場 {南西諸島、 沖縄島宇嘉川河口付近}	上陸訓練	ホ	金武ブルー・ビーチ訓練場 {南西諸島、沖縄島金武中城港}	水陸両用訓練
ロ	キャンプ・シュワブ {南西諸島、沖縄島大浦湾付近}	水陸両用訓練	ヘ	キャンプ・コートニー {南西諸島、沖縄島金武中城港}	水陸両用訓練
ハ	キャンプ・ハンセン {南西諸島、沖縄島久志湾}	水陸両用訓練	ト	浮原島訓練場 {南西諸島、 沖縄島金武中城港及び付近}	水陸両用訓練
ニ	金武レッド・ビーチ訓練場 {南西諸島、沖縄島金武中城港}	水陸両用訓練 船舶出入訓練	チ	津堅島訓練場 {南西諸島、沖縄島金武中城港}	水陸両用訓練

	第7・8号岸壁	33° 36.7' N 130° 23.8' E	360	3~5.5	2,000×4	
	第9~11号岸壁	33° 36.7' N 130° 24.1' E	390	6~7	5,000×3	
	第12号岸壁	33° 36.6' N 130° 24.2' E	161	5.5	3,500×1	
	博多ふ頭2号岸壁	33° 36.3' N 130° 23.9' E	105	5	2,000×1	
	博多ふ頭3号岸壁		147	6~7.5	5,000×1	定期船用
須崎ふ頭	1号岸壁	33° 36.4' N 130° 23.5' E	130	5~7.5	5,000×1	
	第2~4号岸壁		553	10~12	30,000×2	アンローダークレーン3基
	第5・6号岸壁	33° 36.3' N 130° 23.2' E	260	7	5,000×2	
	第7~10号岸壁		450	4~5.5	2,000×5	
	長浜1号岸壁	33° 36.0' N 130° 23.4' E	360	3~5.5	2,000×4	
	長浜2号岸壁	33° 35.9' N 130° 23.6' E	360	4~6	2,000×4	

上記表の他に、防波堤内には箱崎、東浜、長浜及び福岡の4船だまりがあり、小型船及び漁船の係船に利用されている。

5 **最大入港船舶** 2024年4月22日、客船MSCベリッシマ（171,598t、喫水8.7m）が中央ふ頭5号岸壁に着岸した。

航泊制限 引火性危険物積載タンカーの引火による事故を防止するため、一般船舶は港内に停泊中の同タンカー（タンク船も含む）から30m（LPG船は50m）以内の海域に立ち入ることが禁止されている。同タンカーは、港内停泊中「引火性危険物積載中」の垂れ幕等を掲げている。

通信

10 **港長** 船舶と港長との間で、「もじほあん」を介しVHF無線電話による港務通信ができる。

呼出名称	周波数 (呼出・応答/通信)	運用時間	連絡先	備考
もじほあん MOJI COAST GUARD RADIO	16/12ch	常時	福岡海上保安部	

港湾管理者 船舶と港湾管理者との間で、VHF無線電話による港務通信ができる。

呼出名称	周波数 (呼出・応答/通信)	運用時間	連絡先	備考
はかたポートラジオ	16/11, 12ch	常時	092-272-0577	東洋信号通信社受託局

水先 博多水先区水先人会に要請する。（第1編総記第6章水先参照）

係船浮標 長浜船だまり西部に1個の係船浮標がある。

15 **錨泊禁止** 西防波堤南部の内港入口から荒津大橋に至る海域は、福岡、長浜各船だまりに出入りする船舶の航路を確保するため、錨泊が禁止されている。

錨地 主に、第3区に錨泊するよう指導されている。北寄りの風の強いときは船舶の喫水に応じて志賀島や西戸《サイト》埼（33° 38.7' N 130° 21.7' E）の南西方に、西寄りの風の強いときは能古島の東側に錨泊するほうがよい。長浜船だまりは、どの方向の風に対しても比較的安全である。

検疫錨地は、能古島の東部に指定されている。

20 **架橋** 第1区南西部の博多漁港入口を横断する荒津大橋（高さ約38m）がある。

通信 船舶と港長との間で無線電話による港務通信ができる。

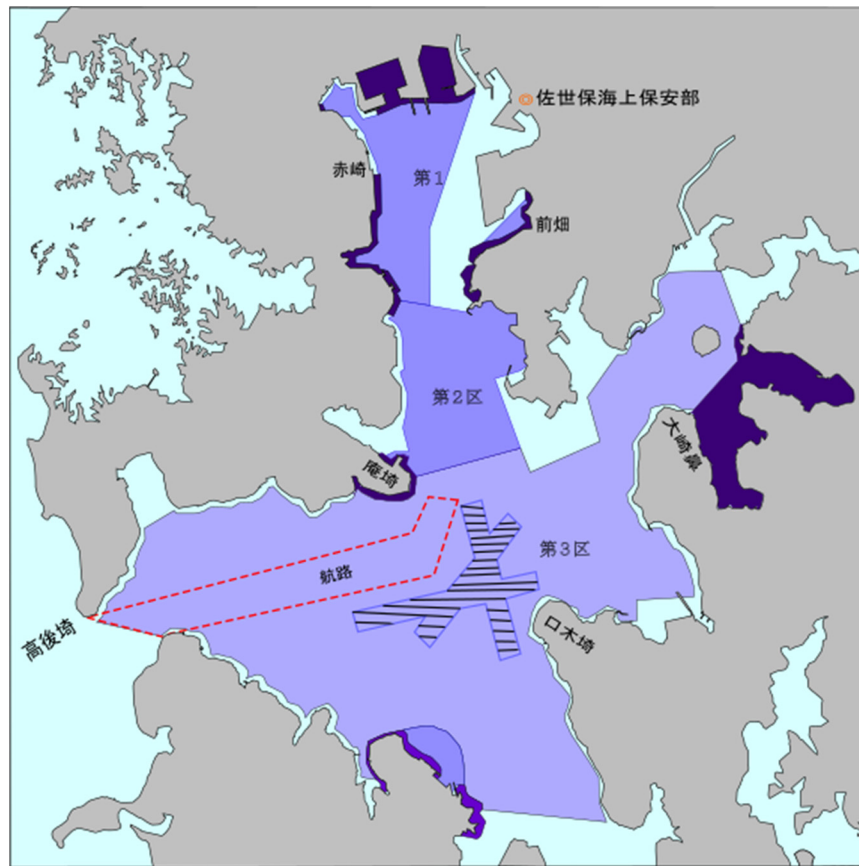
呼出名称	周波数 (呼出応答/通信)	運用時間	連絡先
もじほあん MOJI COAST GUARD RADIO	16/12ch	常時	佐世保海上保安部

係船浮標 港内には**多数の**係船浮標があるが、米軍及び自衛隊の専用である。

海底磁気測定器設置区域 第2区大森鼻の西北西方約0.6Mに海底磁気測定器設置区域（西側至近に灯付白塗浮標がある）がある。

5 **立入禁止等** 米軍施設制限水域が設けられている。制限水域は4種類に区分され、それぞれに禁止事項が定められている（第16図参照）。

第16図 佐世保港米軍施設制限水域図



施設 水域名	禁止事項 (許可取得を要す)	施設 水域名	禁止事項 (許可取得を要す)
A 施設水域 ■	立入り	C 施設水域 ■	1. 潜水、サルベージのための立入り 2. 合衆国軍管理船舶及び水上機から100メートル以内の立入り
B 施設水域 ■	1. 漁ろうのための立入り 2. 潜水、サルベージのための立入り 3. 停留のための立入り 4. 合衆国軍管理船舶及び水上機から100メートル以内の立入り	D 施設水域 ■	1. 潜水、サルベージのための立入り 2. 投錨のための立入り 3. 昼間漁ろうのための立入り 4. 水域が水上機により使用されているときの立入り

中甌島側から西方へ約900m延びる礁脈の西側にある沖ノ瀬上《オキノセガミ》(水上岩、31° 47.4′ N 129° 48.5′ E、高さ5m)は、好目標になる。下甌島側から東方へ約300m延びる礁脈は、全部低潮時に干出する。中甌島と下甌島を結ぶ甌大橋(令和2年8月29日開通)がある。

5 **海象** この方面では春先を中心として、多くは穏やかな晴天時に数十分の周期で海面の急激な振幅があり、この地方では「アビキ」と呼んでいる。

錨地 上甌島に西ノ浦、浦内湾、中甌浦及び東ノ浦、下甌島に手打港及び長浜浦などがあるが、いずれも台風時の泊地には適さない。

鷹島(31° 26.9′ N 129° 44.0′ E、最高頂68m)は、下甌島南端の南方約10.5Mにある五つの小島の一群で、南、北方向からは三つの島のように見える。

10 **鷹島**の南方には水上岩(31° 26.4′ N 129° 44.1′ E、高さ1.9m)があり、その南方岩と小島群とのほぼ中間に北方岩(干出岩)があって最高高潮時に洗われる。各島間の水道は通れない。

津倉瀬(31° 18.5′ N 129° 44.4′ E、最高頂26m)は鷹島の南方約8.5Mにある4水上岩で、南、北方向からは2突岩、東、西方向からは3岩のように見える。

15 **海上交通** 列島内諸港を経由して串木野港に至るカーフェリー便(940t)及び定期高速船便(197t)、川内港に至る定期高速船便(197t)がある。

漁業 甌島列島の北西方海域(距岸6~45M)で毎年7~11月の間及び下甌島西岸の中央部付近の距岸約4M以内で、シイラ漬け漁業が行われている。また、沿岸の至る所で飼付漁業(一定場所に餌をまいて一本釣りで釣る漁業、9~11月、12月又は翌年1、2月)が行われている。

20

中 甌 港 (31° 50′ N 129° 51′ E) (海図W209、W1260) (JPNKK)

港種 港則法適用港

25 **概要** 上甌島の南西部にある中甌浦全域を港域とし、浦奥に防波堤に囲まれた**中甌漁港**の船だまりがある。この港は南南西方に広く開口し、南寄りの風にさらされるので、台風時の避泊には適さないが、冬季の北西季節風時には3,000t級の船舶が避泊できる。

気象 春季~夏季には南東の風、秋季~冬季には北西~北の風が多く吹く。

海象 潮流は、上げ潮流は南方から串埼に当たって北西岸沿いに湾内に流入するが、浦の中央部から内方は流れがない。下げ潮流は、上げ潮流の逆に流れる。

目標

地物名	概位	備考
橋	31° 49.8′ N 129° 50.7′ E	甌大明神橋、高さ約15m、白色、串瀬戸

30 **針路法** 巡視船(335t)は甌大明神橋を船首目標として針路335°で進航し、中甌港倉妻《クラツマ》防波堤灯台(31° 49.6′ N 129° 51.2′ E)を右正横に見て針路020°に変針し、さらに続航し、フェリー岸壁基部南側を船首目標とし、針路060°に変針して港内に向かう。

錨地 港域内の中央部は好錨地であるが、漁港防波堤の前面約600mで水深10~12.8mの所が特に良く、

港湾施設

名称		概位	長さ (m)	水深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備考	
本 港	漁港区N岸壁	31° 35.2' N 130° 34.0' E	250	4	250t×5		
	小川ふ頭岸壁	31° 35.9' N 130° 33.9' E	180	5.5	2,000×2		
	本港桜島フェリーふ頭岸壁	31° 35.8' N 130° 33.8' E	120	4.5	700×2		
	本港フェリーふ頭第3岸壁		60	4	1,000t×1		
	北ふ頭1号岸壁	31° 35.7' N 130° 34.1' E	360	12~13.5	10,000×2		
	北ふ頭2号岸壁	31° 35.7' N 130° 34.0' E	310	8	5,000×2		
	南ふ頭1号岸壁	31° 35.5' N 130° 34.0' E	155	8	5,000×1		
	南ふ頭2号岸壁		155	7.5	5,000×1		
	南ふ頭3号岸壁		90	6.5	2,000×1		
	南ふ頭4号岸壁		90	6	2,000×1		
南ふ頭5号岸壁	31° 35.5' N 130° 34.1' E	150	7.5	4,000×1			
新 港	1号岸壁	31° 35.0' N 130° 34.0' E	125	7	5,000D/T×1	*	
	2号岸壁		208	3.5~5.5	2,000D/T×2	*	
	3号岸壁		184	4	2,000D/T×2	*	
	5号岸壁	31° 34.8' N 130° 34.0' E	220	9	10,000D/T×1	*	
	6号岸壁		190	6~7.5	8,000D/T×1	*	
	7号岸壁		80	4	1,000×1		
鴨池港突堤		31° 33.2' N 130° 33.7' E	150	4	700×2		
鴨池港第2突堤			160	4.5	990t×2		
南 港	2号岸壁	31° 32.9' N 130° 32.9' E	161	4	700×2		
	3号岸壁(北)		81	3.5	700×1		
	3号岸壁(南)		125	4	700×2		
	4号岸壁	31° 32.8' N 130° 32.8' E	90	4	700×1		
	5号岸壁		80	3.5	700×1		
	6号岸壁		90	5.5	2,000×1		
	7号岸壁		174	5.5	2,000×1		
木材港1号岸壁		31° 32.0' N 130° 32.6' E	185	8.5	15,000×1		
マリンポート岸壁		31° 32.1' N 130° 33.3' E	340	9	70,000t×1		
谷山 1区	1号岸壁	31° 30.5' N 130° 31.5' E	250	12	30,000×1		
	2号岸壁		260	7	5,000×2		
	3号岸壁		270	5	2,000×3		
	5号岸壁		400	5	2,000×4		
	6号岸壁	31° 30.2' N 130° 31.4' E	180	5.5	2,000×2		
	7号岸壁		260	7.5	5,000×2		
	8号岸壁		240	12	30,000×1		
谷山 2区	北	東ふ頭岸壁	31° 29.7' N 130° 32.2' E	390	7.5	5,000×3	
		1号岸壁	31° 29.5' N 130° 31.2' E	360	5	2,000×4	
		2号岸壁		270	5.5	2,000×3	
		3号岸壁		180	5.5	2,000×2	
	谷山	5号岸壁	31° 29.3' N 130° 31.0' E	270	5	2,000×3	
		6号岸壁		260	6.5~7.5	5,000×2	
		7号岸壁		390	5.5~7.5	5,000×3	
		8号岸壁		90	4.5~5.5	2,000×1	

	9号岸壁	31° 29.0' N 130° 31.0' E	90	4~5.5	2,000×1	
	10号岸壁		250	-	10,000×1	
	11号岸壁		250	6~8	10,000×1	

* D/Tは、排水トン数を示す。

外国貿易船が使用する港湾施設などの保安を強化するための立ち入り制限区域がある。

最大入港船舶 2024年5月31日、客船MSC ベリッシマ（171,598 t、喫水 8.7m）が、マリンポート岸壁に着岸した。

5 **医療施設**

名 称	電話番号	名 称	電話番号
鹿児島市立病院	099-230-7000	鹿児島大学病院	099-275-5111

海事関係官公署

官公署名	連絡先	官公署名	連絡先
第十管区海上保安本部	099-250-9800	福岡検疫所鹿児島検疫所支所	099-222-1473
鹿児島海上保安部（港長）	099-222-6680	門司植物防疫所鹿児島支所	099-222-1046
九州運輸局鹿児島運輸支局	099-222-5660	動物検疫所門司支所 鹿児島空港出張所	0995-43-9061
長崎税関鹿児島税関支署	099-260-3125	鹿児島県鹿児島地域振興局建設部	099-805-7414
福岡出入国在留管理局鹿児島出張所	099-222-5658		

台風・津波対策 本港では、台風、津波等による船舶事故を未然に防止するため鹿児島港台風・津波対策委員会を設置し、在港船舶などに対し、台風・津波情報の伝達及び警戒、避難の勧告・解除等の台風・津波災害防止措置を指導している（問合せ先：鹿児島海上保安部）。

10 **引船** 引船がある。

修理 修理のできる造船所がある。

補給 清水の補給は主な係船岸壁で可能であり、また、給水船がある。燃料油は、給油船から補給できる。

15 **海上交通** 沖縄、奄美、吐噶喇の各群島、種子島、屋久島、桜島及び鹿児島湾内の沿岸各地に至るカーフェリー便、那覇、名瀬、垂水及び指宿に至る定期旅客船便がある。

加治木《カジキ》港 (31° 44' N 130° 40' E) (海図W1255) (JP KJK)

港種 港則法適用港

20 **概要** 鹿児島湾北岸にある南方に開口している港である。主な取扱貨物は建設資材である砂、砂利及びセメントである。

第4節 沖縄群島 (海図W226)

概要 沖縄群島は、奄美群島と先島群島との間にある群島で、沖縄島とその北方にある伊平屋列島及び伊江島並びに西方に散在する慶良間列島、粟国島、渡名喜島及び久米島などの島々の総称である。

5 沖縄県は我が国の中でも台風の接近が多い地域であり、年平均 7.7 個の台風が接近する。月別では、7～9月が多く、この3か月で 5.6 個が接近 (300km 圏内を通過) している。〔出所 沖縄気象台 1991～2020 年統計資料〕

10 沖縄群島周辺海域及び空域には、多数の米軍への訓練海域 (第1編総記第7章航行に関する諸注意、12ページ参照) 等の提供区域があり、制限事項等があることから注意を必要とする。(十一管区水路通報等により事前に情報を入手すること)

沖 縄 島 (26° 28' N 128° 00' E) (海図W226、W222^A、W222^B)

沖縄群島中最大の島で、与論島の南西方約 12.5Mの所から南西方へ約 105km にわたる細長い島である。

15 島岸は至る所さんご礁に覆われている。さんご礁は、この島の港湾機能に大きな影響を与えており、港口から港内にかけて水路至近にさんご礁が広がっているので注意を払う必要がある。

沖縄島は低緯度にあつて、黒潮の影響を受け、一年中気温が高く、湿度も高い。夏から秋にかけて時々台風が襲来し、また、近海で竜巻の発生することが度々ある。

20 西岸は、東岸に比べると、周囲を囲まれた大きな湾が少ない。島の西岸の北半部では、海岸は備瀬《ビセ》埼を突端とする本部半島付近のほかは、北東～南西方向へ延び、ほぼ一直線で、この半島に運天港、渡久地港及び名護湾がある。北西岸南部の残波《ザンパ》岬以南は、東方に屈曲した大きな開湾となっており、その南端に那覇港がある。

東岸の南部にある中城湾と金武湾とを合わせて金武中城港といい、両湾口付近には多数の島、小島、岩礁などがあつて風波を防ぎ、水深も適度で大型船の停泊に適するが、湾内には多数の陰礁が存在する。

25 **運 天 港** (26° 40.6' N 128° 00.1' E) (海図W227) (JP UNT)

上運天地区



(2019年9月撮影)

水深 1.7m、西側に灯標がある) 及びオネベ瀬に注意を要する。

2 毎週月曜日 (特に朝、夕) には本土航路の定期船が集中して入港する関係上、港内は混雑するとともに、新港ふ頭は係留船が多く、バースを見つけることが困難になることがある。

3 港内では、付近にある浅瀬は水の色で大体見分けがつくが、大雨の降った後や雨季には港内から流れる濁水のため、海水が白っぽくなり、浅瀬のように見えることがある。特に三重城の西北西方約 0.7Mにある岬角付近ではこの傾向が強い。

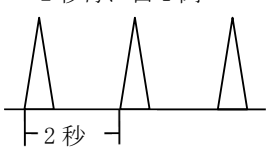
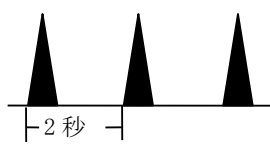
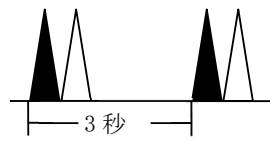
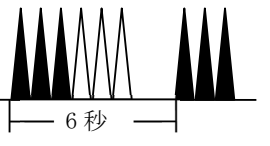
4 那覇ふ頭は、国場川の河口に位置するため 5 月頃の雨期にはいと引潮時には川の流れが最も顕著となり、操船が困難になることがある。

5 冬季において那覇ふ頭へ出入港する場合、ふ頭への水路がほぼ東西方向にあるため北西の季節風の吹き出し時には船舶の正横から風を受けるので保針が困難となる。特に入港時に引潮時と重なったときには危険である。

6 那覇空港の北側には航空法に基づいて航空機の進入表面が設定されているので、船舶はマスト等の安全な高さに注意すること。(海図W243 参照) (詳細については大阪航空局那覇空港事務所 TEL 098-857-1101 に問合せること。)

15 信号 那覇信号所 (26° 12' 55" N 127° 39' 53" E) 及び那覇第 2 信号所 (26° 12' 38" N 127° 40' 14" E) において、航行管制信号を行っている。

那覇水路の航行管制信号は、次表のとおりである。

信号の方法	信号の意味	
閃光式 (昼夜間)		
2 秒毎に白 1 閃 	入航信号	入航船は入航可 総トン数 300 t 以上の出航船は、運航を停止して待機 総トン数 300 t 未満の出航船は、出航可
2 秒毎に赤 1 閃 	出航信号	出航船は、出航可 総トン数 300 t 以上の入航船は、水路外で出航船の進路を避けて待機 総トン数 300 t 未満の入航船は、入航可
3 秒毎に赤 1 閃と白 1 閃 	自由信号	総トン数 500 t 以上の入航船は、水路外で出航船の進路を避けて待機 総トン数 500 t 以上の出航船は、運航を停止して待機 総トン数 500 t 未満の入出航船は、入出航可
6 秒毎に赤 3 閃と白 3 閃 	禁止信号	港長の指示を受けた船舶以外の船舶は、入出航禁止

立入制限 軍港岸壁及び那覇ふ頭を含む水域内において、那覇港右舷灯台 (26° 12.8' N 127° 39.8' E) からその西方約 750mの間の陸岸の前面 50m以内の海域及び同灯台から港奥の明治橋前面海域南側一帯

の陸岸の前面 30m以内の海域は、米軍への提供水域となっており、一般船舶の立入りが制限されている。

錨地 通航路及び危険物積載船舶などの錨地を確保するため、標準錨地（標準錨地については港長に問い合わせること）が設けられており、この錨地は比較的安全に錨泊できるが、周囲はさんご礁で囲まれており、海底は険悪であるので、この海域の状況に詳しくない船舶は水先人なしでは投錨しないほうがよい。

5 検疫錨地は、新港第1防波堤の西方にある。

通信 船舶と第十一管区海上保安本部との間で無線電話による港務通信ができる。

呼出名称	呼出応答/通信チャンネル	運用時間	連絡先
おきなわほあん Okinawa Coast Guard Radio	16/12ch	常時	第十一管区海上保安本部

水先 那覇港には強制水先区があり、那覇水先区水先人会へ要請する（第1編総記第6章水先参照）。那覇水先区の水先要請引き受け基準として、視程が700m以下の視界制限状態のとき、風速については那覇ふ頭地区への水先は10m/s以上の強風のとき、また、新港ふ頭地区への水先は13m/s以上の強風のとき、水先業務を引き受けない。また、この他に種々な基準があるので問合わせが必要である。

10

架橋 泊ふ頭の西側付近に泊大橋（高さ25m、橋梁灯付）がある。

最大入港船舶 2024年6月5日、客船MSCベリッシマ（171,598t、喫水8.7m）が、泊ふ頭8号岸壁に着岸した。

台風・津波対策 本港では、台風、津波等による船舶事故を未然に防止するため那覇港台風及び津波対策委員会を設置し、在港船舶などに対し、台風・津波情報の伝達及び警戒体制、避難、入港制限の勧告・解除等の台風・津波災害防止措置を指導している（問合せ先：那覇海上保安部）。

15

海事関係官公署

官公署名	連絡先	官公署名	連絡先
第十一管区海上保安本部	098-867-0118	沖縄地区税関（本関）	098-868-8525
那覇海上保安部（港長）	098-951-0118	動物検疫所沖縄支所	098-861-4370
那覇検疫所（本所）	098-868-8037	福岡出入国在留管理局那覇支局	098-832-4186
那覇植物防疫事務所	098-868-0715	門司地方海難審判所那覇支所	098-868-9334
沖縄総合事務局運輸部	098-866-1836		

引船 引船がある。

修理 修理できる造船所がある。

20 **補給** 主な岸壁で清水、燃料油の補給ができる。

医療施設

名称	電話番号	備考
沖縄赤十字病院	098-853-3134	

海上交通 東京、阪神、鹿児島、志布志、名瀬、亀徳、和泊、与論、座間味、渡嘉敷、粟国、渡名喜、真泊、久米、伊江、南大東、北大東の各間に定期旅客船便及びフェリー便がそれぞれある。なお、与論、和泊、亀徳、名瀬各港に寄港して阪神に至るフェリー便は休航中である。

金武中城《キンナカグスク》港 (26° 17' N 127° 55' E) (JPKNX)
(海図W228^A、W228^B、W239、W241)

港種 特定港、開港、検疫港、出入国港、植物防疫の港、重要港湾

概要 沖縄島東岸の国頭《クニガミ》郡、うるま市、沖縄市、中頭郡及び島尻郡にまたがる広大な水域を有する港である。沖縄県における原油及び石油製品（専用貨物）のすべてを取扱っており、多数の大型船のシーバース・栈橋などがあるが、ほとんど石油会社の専用施設である。

航行上の注意 訓練海域（第1編総記第7章航行に関する諸注意参照）等の米軍への多数の提供水域があり、制限事項等があることから注意を必要とする。（十一管区水路通報等により事前に情報を入手すること）

海事関係官公署

官公署名	連絡先	官公署名	連絡先
中城海上保安部（港長）	098-921-1623	沖縄県北部土木事務所 *1	0980-53-1787
沖縄地区税関沖縄税関支署	098-988-5292	沖縄県中部土木事務所 *2	098-894-6512
沖縄地区税関支署平安座出張所	098-977-8558	沖縄県南部土木事務所 *3	098-867-2941
那覇検疫所金武・中城出張所	098-868-1674 那覇検疫所本所	沖縄県中部土木事務所 中城湾港管理所 *4	098-938-7711
福岡出入国在留管理局那覇支局 嘉手納出張所	098-957-5252	上記は港湾管理者を各分任し、*1は港湾のうち金武町以北を、*2は、うるま市～西原町を、*3は与那原町以南を管理する。但し、新港地区、泡瀬地区及び西原与那原地区(西原部分)は、*4が管理する。	

10 水先 那覇水先区水先人会の水先人が要請に応じ、津堅島灯台 (26° 15.0' N 127° 56.2' E) 西方約1.5M付近又は、金武中城港金武第2号灯浮標 (26° 25.2' N 127° 57.3' E) の東方0.5M付近で乗船する（第1編総記第6章水先参照）。

15 台風・津波対策 本港では台風・津波による事故を未然に防止するため金武中城港海難防止会、台風・津波対策委員会を設置し、在港船舶などに対し、台風・津波情報の伝達及び警戒体制、避難、入港制限の勧告・解除等の自然災害防止措置を指導している。

また、台風等接近時の走錨対策として、金武中城港港内に所在する重要施設（沖縄石油基地㈱、沖縄ターミナル㈱、沖縄電力㈱（吉の浦火力発電所）付近2Mに錨泊制限海域が設定される。

（問合せ先：中城海上保安部）

医療施設

名称	電話番号	備考
沖縄県立中部病院	098-973-4111	

20 引船 **私営の**引船がある。

中 城 湾 (26° 15' N 127° 53' E) (海図W228^B、W239、W241)
新港地区



(2019年9月撮影)

5 **概要** 金武中城港の南半分を占める広く大きな開湾で、港奥ほどしだいに浅くなっている。湾浜の前面及び小島の周囲には干出さんご礁、洗岩や暗礁などがあり、錨泊の妨げになっている。

湾内の北部に**新港地区**が、南西部に**与那原《ヨナバル》湾**があり、勝連《カツレン》埼の北西側に米軍専用のホワイトビーチ軍港（通称）が、**久高《クダカ》島** (26° 10' N 127° 54' E) 南西端には**徳仁《トクジン》港**がそれぞれある。

10 この湾の入口は、南から久高口 (26° 09.0' N 127° 53.0' E)、二ツ口《ターチイクチ》(26° 13.0' N 127° 57.0' E)、津堅口《ツケンクチ》(26° 16.5' N 127° 59.0' E) 及び浜比嘉口《ハマヒガクチ》(26° 20.5' N 128° 00.5' E) があり、その主な入口は二ツ口（幅約2M、水深約55m）である。

二ツ口は中城湾の主な出入口で、入口水路の中央に中城湾口灯浮標 (26° 13.3' N 127° 58.0' E、レーダ反射器付) がある。

15 **目標**

地物名	概位	備考
煙突	26° 11.4' N 127° 45.9' E	高さ121m、薄青塗
製糖工場	26° 20.7' N 127° 51.9' E	白色の建物及び煙突（高さ52m）がある。
ウガン岩	26° 10.9' N 127° 55.7' E	高さ5mの岩、二ツ口通航時の目標となる。

港湾施設（新港地区）

名称		概位	長さ (m)	水深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備考
西ふ頭	-5.5m岸壁	26° 19.5' N 127° 50.9' E	270	5	2,000×3	
	-7.5m岸壁		260	5~7	5,000×2	
	-10m岸壁		185	9~10	12,000×1	
	-13m岸壁		260	12.5	40,000×1	
東ふ頭	-7.5m岸壁	26° 19.8' N 127° 51.4' E	780	7~7.5	5,000×6	
	-11m岸壁		271	11	—	

水路 中城湾北部の防波堤（西）から新港地区に至る掘下げ水路は幅約230m、水深13mで3灯浮標及び防波堤灯台で表示されている。

前 泊 港 (27° 02.0' N 127° 58.1' E) (海図 ~~W1484~~、W229)



(2019年11月撮影)

- 5 概要 伊平屋島東岸にある港で、砂糖の積み出し等にも利用されている。

目標

地物名	概位	備考
賀陽《ガヨウ》山	27° 01.6' N 127° 57.0' E	島の最高峰 (高さ 294m)。

港湾施設

名称	概位	長さ (m)	水深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備考
-4.5m岸壁	27° 02.2' N 127° 58.1' E	120	4~5	-	フェリー発着所
-5.5m岸壁	27° 02.2' N 127° 58.2' E	90	4~5	-	公共岸壁

海上交通 運天港との間にフェリー便 (498 t) がある。

10

仲 田 港 (26° 55.5' N 127° 57.2' E) (海図 ~~W1484~~、W229)



(2019年11月撮影)

- 15 概要 伊是名《イゼナ》島 (26° 56.1' N 127° 56.2' E) 東岸、仲田村落前面にある港で、南、東 (灯台がある) 両防波堤に囲まれた港口は東方へ開いている。

目標 製糖工場の煙突 (26° 55.8' N 127° 57.0' E、高さ 54m、白色) があり、突堤へ接近する際の目標になる。

港湾施設 岩のがけを切り開いて造った5.5m岸壁（係船能力2,000t）があるが、険しい地形により直接接岸できない。岸壁前面に係船浮標（赤塗、係船能力2,000t）がある。

荷役や乗客の乗降は、大型起重機車で行う（写真参照）。

海上交通 那覇港及び南大東島の**南大東港（西地区）**との間に定期旅客船便（690t）がある。



旅客船の荷役風景

5 南大東島 (25° 50' N 131° 15' E) (海図W1210)

概要 北大東島の南南西方の、常に西方へ流れる幅約4Mの海流がある深水の水道を隔てた、さんご環礁の隆起した島で、外輪部（最高頂75m）が高く、中央部は低いすり鉢形をしている。島岸は高さ10～15mの石灰岩のがけから成り、島の南西端至近に**無線中継塔（高さ79m）**及びテレビ塔（高さ71m）がある。

島の付近には危険な暗礁もなく、周囲は急深であるが、島の南西端付近は比較的緩やかな傾斜をもった岩脈が海中へ約70m突き出て、浅水地となっている。また、島の北西端からも浅水の礁脈が約70mにわたって延びている。

この島の東岸に南大東空港があり、定期航空便がある。また、沖縄県立南部医療センター・**こども医療センター**の南大東診療所及び、南大東島地方気象台がある。

南大東島西岸のほぼ中央にある**南大東港（西地区）**が、南大東島の玄関港として利用されている。補完港として**同港北地区**及び、**同港亀池地区**がある。

この島も北大東島と同様に防波堤がなく外洋に直接面し、常に高波の影響を受けるため、入港船舶は3港の中で風下の波のない港を選んで入港している。

また北岸には南大東漁港（南大東）があり、この港は陸域を開削したもので、漁船が直接接岸することが可能となっている。

最大入港船舶 2024年3月6日、客船MSCベリッシマ（171,598t、喫水8.7m）が、平良港クルーズ岸壁に着岸した。

錨地 検疫錨地（24° 51.8′ N 125° 15.6′ E）が港外北部、下崎の北北西方2M付近にある。通常、大型船に薦められる錨地としては、大神島頂（24° 55.0′ N 125° 18.5′ E、高さ74m）を055° 約4.4Mに見る所（水深53m、底質細砂及び貝殻）が良い。また、池間島灯台を011°、西平安名《イリヘンナ》岬先端を051°、同島の東側外端を183°、伊良部島北端を248°にそれぞれ見る所にも錨地が得られる。

北東の季節風が強吹するときの錨地としては、池間島の南側で、西平安名岬の頂を105° 約0.8Mに見る所が唯一のものであるが、付近に土砂投入地があるので注意を要する。

注意 錨のつめが礁の間に挟まる場合があるので、錨地の選定及び抜錨には慎重な配慮が必要である。

10 **台風・津波対策** 本港では、台風、津波等による船舶事故を未然に防止するため宮古地区海上防災対策協議会を設置し、在港船舶などに対し、台風・津波情報の伝達及び警戒体制、避難の勧告・解除等の台風・津波災害防止措置を指導している（問合せ先：宮古島海上保安部）。

海事関係官公署

官公署名	連絡先	官公署名	連絡先
宮古島海上保安部	0980-72-0118	福岡出入国在留管理局 那覇支局 宮古島出張所	0980-72-3440
沖縄地区税関 石垣税関支署 平良出張所	0980-72-2310	那覇検疫所 平良出張所	0980-73-5116
那覇植物防疫事務所 平良出張所	0980-72-2433	宮古島市 建設部 港湾課	0980-72-4876

補給 清水の補給ができる。

15 **修理** 小規模の修理ができる。

医療施設

名称	電話番号	備考
沖縄県立宮古病院	0980-72-3151	

海上交通 多良間島との間にフェリー便（499t）がある。

20 **伊良部島**（24° 50′ N 125° 11′ E）（海図W1281）

概要 宮古島平良港の西方約3Mにあり、宮古島北西岸西部に位置する。島頂は島の南東端にある高さ89mのがけである。島はさんご礁で囲まれ、南西側に下地島がある。

島頂の北西方至近にある無線塔（24° 49.2′ N 125° 12.8′ E、赤白塗、2基）は遠方からよく目立つ。

架橋 伊良部島南東端から、宮古島西岸野川崎間に伊良部大橋（高さ約27m、全長3,540m）がある。

25

- 1 石垣港へ入港する船舶は海図W1206、W1285、W1286を備え置くこと。
- 2 石垣港域内で錨泊に適する海域は、検疫錨地のみである。但し、検疫錨地は非常に狭いので、同時に錨泊できる船舶に限りがある。(5,000 t以下の船舶では4隻が限度。)
- 3 同港周辺海域にはさんご礁からなる浅瀬が沢山あり、外国船舶の乗揚げ事故が頻発しているため入港する場合は、厳重に注意すること。
- 4 検疫錨地には入出港船舶のメイン航路が通っているため、検疫錨地に錨泊する船舶は入出針路及び錨泊位置については極力メイン航路を避けること。
- 5 入港経験不足により不安を感じた船長及び船舶の性能により航行が制限される大型船舶は、なるべく引船や水先人等を手配すること。
- 6 出入港船舶は、VHF16chを常時聴守すること。

港湾施設

名称		概位	長さ(m)	水深(約m)	係船能力(D/W×隻)	備考
浜崎町地区	A岸壁	24° 20.3' N 124° 09.1' E	60	3.5	1,000×1	
	B岸壁		100	5	1,000×1	
	C岸壁		130	-	5,000×1	工事中
	D岸壁		130	6.5~7	5,000×1	
	E岸壁		185	8.5~9	10,000×1	
	F岸壁		250	8.5	15,000×1	耐震強化岸壁
	-7.5m岸壁	24° 20.3' N 124° 08.7' E	170	6.5~7.5		
新港地区	-7.5m岸壁	24° 20.0' N 124° 08.9' E	130	7.5	5,000×1	
	-5m岸壁		140	3.5~4.5	1,000×2	

注意 岸壁に係留する場合、潮流に対して特に注意を払う必要がある。台風の際は、岸壁係留はできない。この島にはネズミが多いので、係留索にラットガードを付けることを忘れてはならない。

最大入港船舶 2024年6月6日、客船MSCベリッシマ(171,598 t、喫水8.7m)が、新港地区(新港クルーズ岸壁)に着岸した。

台風・津波対策 本港では台風・津波による事故を未然に防止するため石垣港災害対策協議会を設置し、在港船舶などに対し、台風・津波情報の伝達及び警戒体制、避難、入港制限の勧告・解除等の台風災害防止措置を指導している(問合わせ先:石垣海上保安部)。

海事関係官公署

官公署名	連絡先	官公署名	連絡先
石垣海上保安部	0980-83-0118	那覇植物防疫事務所石垣出張所	0980-82-2312
沖縄地区税関石垣税関支署	0980-82-3375	沖縄総合事務局石垣港湾事務所	0980-82-4740
福岡出入国在留管理局那覇支局 石垣港出張所	0980-82-2333	沖縄総合事務局八重山運輸事務所	0980-82-4772
那覇検疫所石垣出張所	0980-82-4940	石垣市建設部港湾課	0980-82-4046

引船 引船がある。

補給 清水及び燃料油の補給ができる。

波照間漁港 (24° 04' N 123° 46' E) (海図W1206、W1387、~~W1486~~)



(2019年8月撮影)

概要 波照間島の北西部にある漁港で、沖、北（北東端に灯台がある）、東及び西の防波堤に囲まれ、港口は北西方へ開いている。また、島全体が平坦地のため、どの方向の風も港内に影響を及ぼす。

目標

地物名	概位	備考
無線塔	24° 03.8' N 123° 46.7' E	灰色、パラボラアンテナ付

水路 礁脈の切れ目が港内への水路（水深約4.5～12mという）になっており、北北東方から入る。1灯標が設置されている。

注意 港口沖合に危険な暗岩群や水深1.5mの浅所がある。

針路法 巡視船（144t）は、針路153°で波照間港第2号灯標（24° 04.4' N 123° 46.0' E）に接近し、以降北防波堤と沖防波堤の中央を通して入港する。

水路航行中は、うねり及び潮流等の圧流に特に注意している（1999年）。

港湾施設

名称	概位	長さ(m)	水深(約m)	備考
5号岸壁	24° 04.1' N 123° 46.1' E	160	4.5	フェリー及び高速旅客船使用

海上交通 石垣港との間にフェリー便（199t他）及び高速旅客船便（294t他）がある。

与那国島 (24° 27' N 123° 00' E) (海図W224)

概要 南西諸島中最も西にある。島の東西にそれぞれ山地があり、両山地は樹木に覆われている。東側にある宇良部岳（高さ231m）には、頂に無線塔があつてよく目立つ。島の東、西両端には灯台がある。

この島はさんご礁に縁取られているが、島の北岸中央付近に祖納港、西に久部良漁港がある。

ナカビシ（24° 28.6' N 123° 01.3' E、最小水深1.2m）は、東埼の西北西方約1.4M、距岸約650mにある暗岩で、その付近は険悪地となっており、荒天時には白波が立つ。